

はじめに

- ★ 「男女共同参画社会」とは、性別にとらわれず、誰もが自分らしく個性や能力を発揮して、生き生きと暮らせる社会のことです。
- ★ しかし、社会の一部では、いまだに性別による固定的な役割分担意識などが根強く残っているのが現状です。
- ★ 小樽ではどうでしょう？
グラフからは、雇用や政治、各審議会などの分野において女性の参画が不足している状況に読み取れます。
- ★ 小樽の街を元気にするには、様々な分野での女性の活躍が必要です。これを機に、男女共同参画社会について考えてみませんか。

グラフで見る小樽の女性と男性 小樽の現状は？

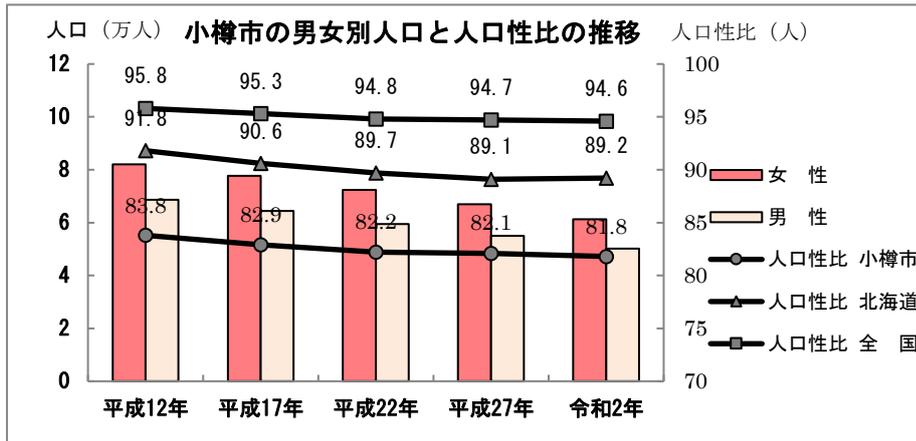
～ 女性の活躍でまちを輝かせる～

◆総人口と人口性比の推移◆

注) 人口性比：女性 100 人に対する男性の数

		平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
総人口(人)		150,687	142,161	131,928	121,924	111,422
女性	(人)	82,000	77,725	72,414	66,939	61,274
	(%)	54.4	54.7	54.9	54.9	55.0
男性	(人)	68,687	64,436	59,514	54,985	50,148
	(%)	45.6	45.3	45.1	45.1	45.0
人口性比(人)	小樽市	83.8	82.9	82.2	82.1	81.8
	北海道	91.8	90.6	89.7	89.1	89.2
	全国	95.8	95.3	94.8	94.7	94.6

資料：小樽市統計書速報令和2年(国勢調査)
令和2年国勢調査速報(総務省統計局)



男女の割合は、女性が 10 ポイント高く、令和 2 年の人口性比は、女性 100 人に対し男性 81.8 人。

資料：小樽市統計書速報令和2年(国勢調査)
令和2年国勢調査速報(総務省統計局)

◆全道 35 市における人口性比の順位◆

【平成 22 年】

順位	市	人口性比(人)
1	網走市	104.8
2	千歳市	104.5
3	恵庭市	95.8
4	苫小牧市	95.5
⋮	⋮	⋮
32	赤平市	83.4
33	三笠市	82.6
34	小樽市	82.2
35	歌志内市	80.4
		89.7

道内 35 市の中で、小樽は 2 番目に男性比率が低い。



【平成 27 年】

順位	市	人口性比(人)
1	千歳市	103.2
2	網走市	102.9
3	苫小牧市	96.0
4	稚内市	95.9
⋮	⋮	⋮
32	函館市	82.7
33	赤平市	82.6
34	小樽市	82.1
35	三笠市	81.5
		89.2

資料：「統計で見るわが街おたる」(平成 28 年 3 月)

資料：「統計で見るわが街おたる」(令和 2 年 3 月)

◆男女別人口年齢の比較◆

		合 計		年少人口 (0~14歳)		生産年齢人口 (15~64歳)		老年人口 (65歳以上)	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
		平成31年	女 性	63,481	54.9	4,858	4.2	30,641	26.5
	男 性	52,151	45.1	5,022	4.3	28,742	24.9	18,387	15.9
	総人口	115,632	100	9,880	8.5	59,383	51.4	46,369	40.1
令和2年	女 性	62,429	54.9	4,700	4.1	29,791	26.2	27,938	24.6
	男 性	51,291	45.1	4,891	4.3	28,054	24.7	18,346	16.1
	総人口	113,720	100	9,591	8.4	57,845	50.9	46,284	40.7
令和3年	女 性	61,284	54.9	4,540	4.1	29,031	26.0	27,713	24.8
	男 性	50,254	45.1	4,669	4.2	27,388	24.6	18,197	16.3
	総人口	111,538	100	9,209	8.3	56,419	50.6	45,910	41.1

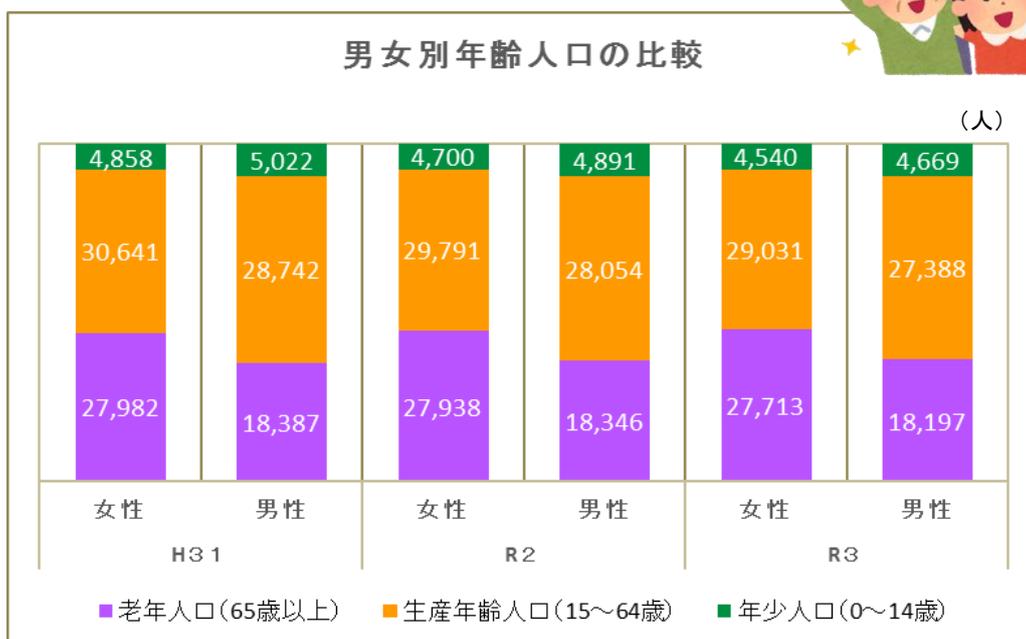
資料：小樽市住民基本台帳人口年齢構成表(各年4月末)

- ・男女とも年少人口・生産年齢人口は減少傾向、生産年齢人口は総人口の50.6%、老年人口の割合は増加傾向で総人口の40%超。
 - ・総人口における男女比については変化がみられない。
- ※国の年齢別人口では、年少人口12.1%、生産年齢人口59.7%、老年人口28.2%となっています。

(資料：総務省自治政局『住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント(令和3年1月1日現在)』)



男女別年齢人口の比較



資料：小樽市住民基本台帳人口年齢構成表(各年4月末)

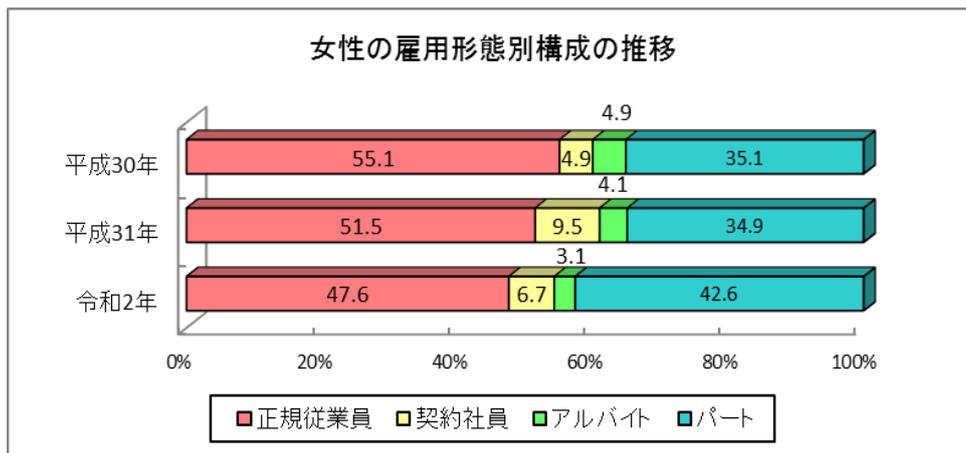
◆男女別の雇用形態別構成◆

単位：人(%)

		全従業員	正規従業員	契約社員	アルバイト	パート				
女性	平成30年	5,243	2,888	55.1	254	4.9	259	4.9	1,842	35.1
	平成31年	5,602	2,886	51.5	534	9.5	228	4.1	1,954	34.9
	令和2年	7,109	3,383	47.6	477	6.7	221	3.1	3,028	42.6
男性	平成30年	6,130	4,783	78.0	574	9.4	282	4.6	491	8.0
	平成31年	6,527	4,911	75.2	707	10.8	233	3.6	676	10.4
	令和2年	7,201	5,504	76.4	539	7.5	190	2.6	968	13.5

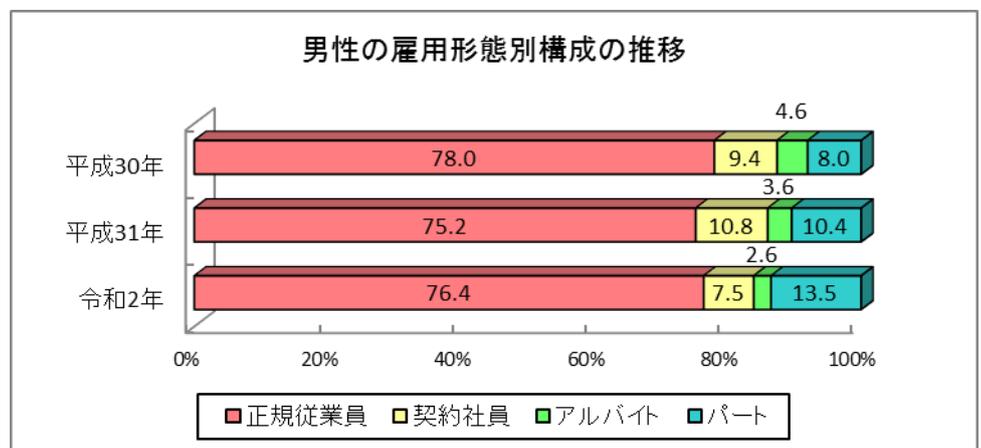
資料：「小樽市労働実態調査」(各年9月30日現在)

注) 「小樽市労働実態調査」…当市に所在する従業員5人以上の規模の事業所から、600事業所を層化有意抽出法により抽出して行う調査



女性は、正規従業員や契約社員が減少し、パート従業員が大幅に増加。

男性は、毎年、正規従業員が75%以上、契約社員やアルバイトは減少傾向、パート従業員は増加傾向。



資料：「小樽市労働実態調査」(各年9月30日現在)

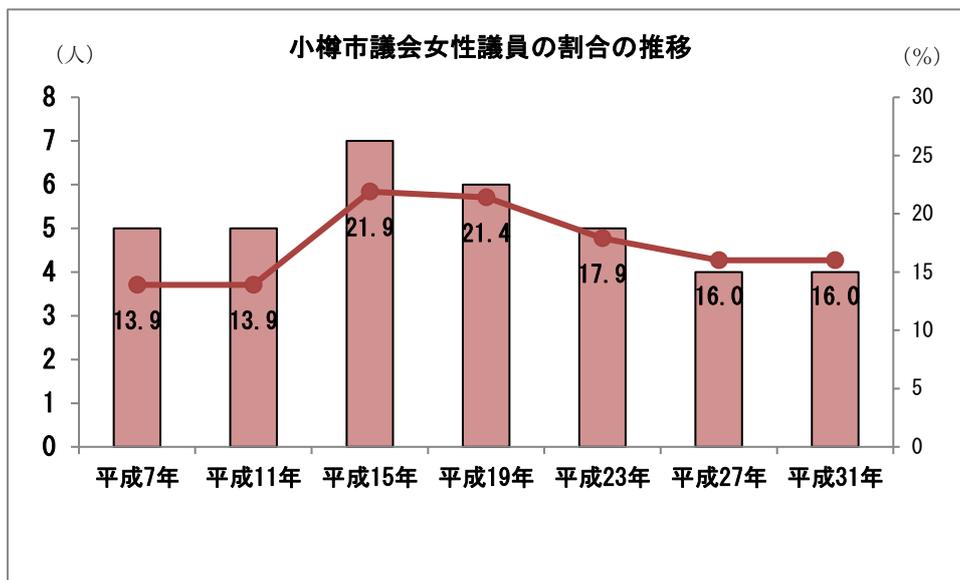
◆各分野における女性の社会参画◆

(1) 政治や行政分野への参画状況

小樽市議会における女性議員数の推移

	平成7年	平成11年	平成15年	平成19年	平成23年	平成27年	平成31年
議員定数(人)	36	36	32	28	28	25	25
女性議員数(人)	5	5	7	6	5	4	4
%	13.9	13.9	21.9	21.4	17.9	16.0	16.0

資料:小樽市議会事務局(改選期の5月1日現在)



資料:小樽市議会事務局(改選期の5月1日現在)

【道内10都市の市議会女性議員の比率状況】

順位	市	女性議員数(人)	議員総数(人)	%
1	江別市	12	25	48.0
2	函館市	9	27	33.3
3	札幌市	21	68	30.9
4	旭川市	7	34	20.6
5	北見市	5	27	18.5
6	帯広市	5	29	17.2
7	小樽市	4	25	16.0
8	室蘭市	3	21	14.3
8	釧路市	4	28	14.3
8	苫小牧市	4	28	14.3

資料:「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」(北海道 令和3年3月31日現在)

平成15年に7名が在籍、最近2回の選挙では4名で推移。



女性議員と男性議員の数が拮抗している都市もある。

(2) 審議会等への女性登用率の推移

※審議会等とは、行政機関である委員会や委員、法律や条例等により設置される各種審議会や委員会、国や市が委嘱する委員等をいう。

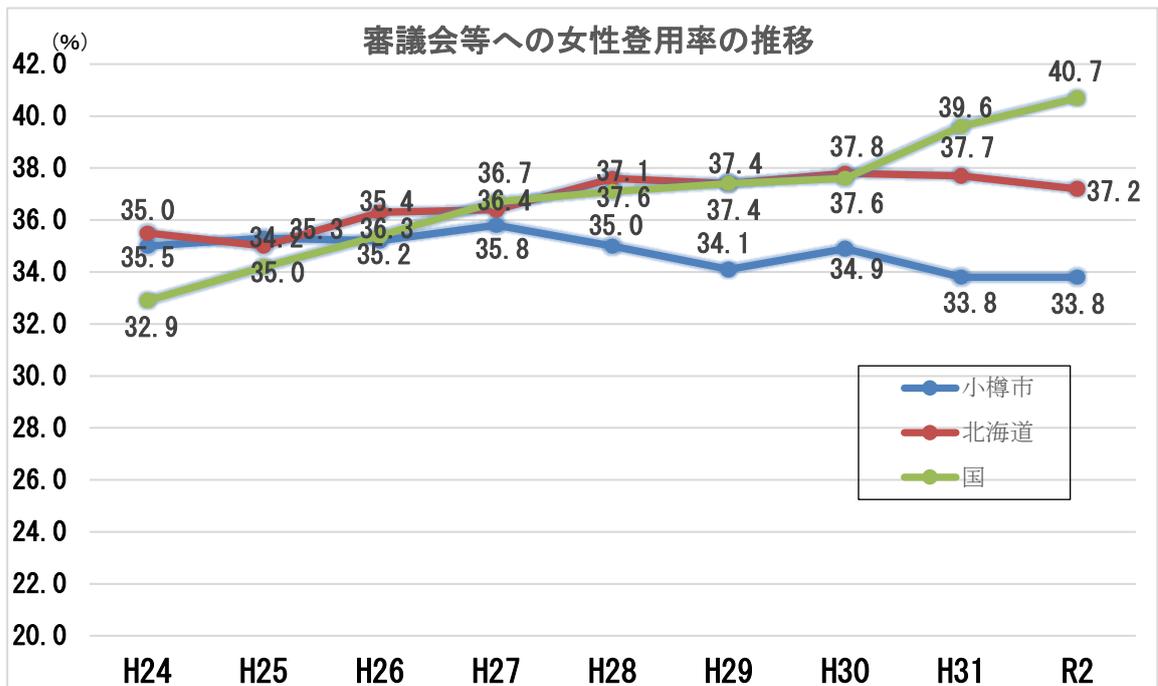
単位：%

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
小樽市	35.0	35.3	35.2	35.8	35.0	34.1	34.9	33.8	33.8
北海道	35.5	35.0	36.3	36.4	37.6	37.4	37.8	37.7	37.2
国	32.9	34.2	35.4	36.7	37.1	37.4	37.6	39.6	40.7

資料：小樽市生活環境部「小樽市の審議会・委員会等への女性登用状況」
「道・市町村及び国の審議会等における女性委員の参画状況の推移」(北海道)
(各年4月1日現在)



- ・国、道は増加傾向、小樽市はほぼ横ばい。
- ・第7次小樽市総合計画では、令和10年度の登用率の目標は45%。
現状から11.2ポイントの上昇が必要。



資料：小樽市生活環境部「小樽市の審議会・委員会等への女性登用状況」
「道・市町村及び国の審議会等における女性委員の参画状況の推移」(北海道)
(各年4月1日現在)

(3)小樽市職員の女性就業状況

	うち女性数／ 職員総数(人)	うち女性数／管理職総数(人)	
			うち一般行政職 うち女性数／管理職総数(人)
平成 30 年	633／1714	47／257	12／131
	36.9%	18.3%	9.2%
平成 31 年	637／1703	48／260	11/130
	37.4%	18.5%	8.5%
令和2年	650／1720	48／260	11／128
	37.8%	18.5%	8.6%

資料:「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」(北海道 各年 4 月 1 日現在)

- 職員総数における女性数は微増傾向、管理職総数に占める女性数や割合は、ほぼ横ばい。

【道内10都市の一般行政職における女性管理職の割合】

単位: %	
函館市	16.4
苫小牧市	11.6
釧路市	11.6
旭川市	11.1
札幌市	9.4
小樽市	8.6
室蘭市	8.3
帯広市	6.8
北見市	6.0
江別市	5.3



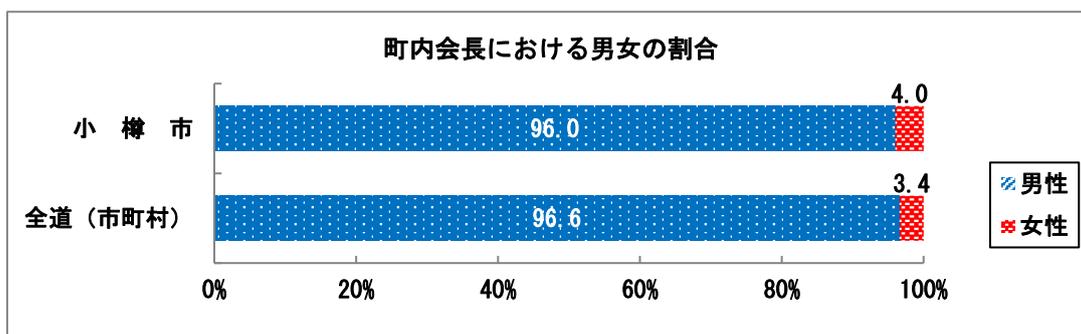
資料:「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」(北海道 令和 2 年 4 月 1 日現在)

- 道内 10 都市における女性管理職の割合は、多い都市と少ない都市で 3 倍程度の開き。
- 小樽市は、ほぼ中位に位置するが、多い都市の半分程度。

(4) 町内会・PTAにおける男女の割合

① 町内会長

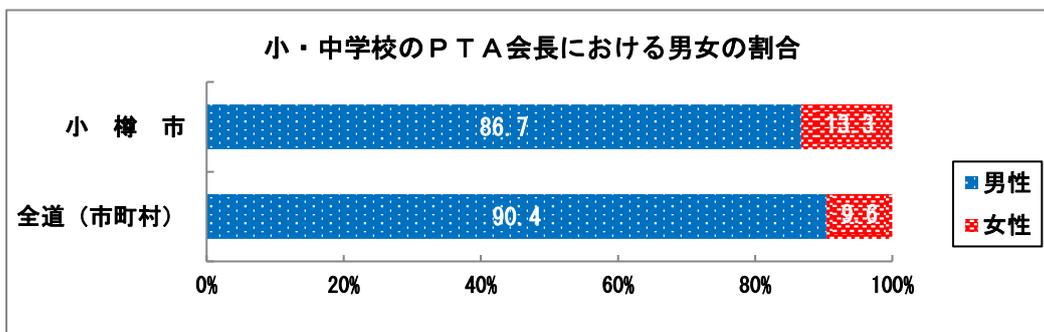
	総数(人)	女性(人)	比率(%)	男性(人)	比率(%)
小樽市	149	6	4.0	143	96.0
全道(市町村)	12,364	417	3.4	11,947	96.6



資料:「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」
 (※ 札幌市 自治会長に関する調査未実施のため不明)
 (北海道 令和2年4月1日現在)

② PTA会長(小・中学校)

	総数(人)	女性(人)	比率(%)	男性(人)	比率(%)
小樽市	30	4	13.3	26	86.7
全道(市町村)	1,299	125	9.6	1,174	90.4



資料:「地方公共団体における男女平等参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査結果」
 (※ 札幌市 PTAに関する男女数、統計なしのため不明)
 (北海道 平成31年3月31日現在)



町内会長やPTA会長の男女割合は、全道・小樽市ともに男性が圧倒的に多い。